



日本初！モビリティハブ「泉北ぷらっと」お披露目します！

～11月10日 泉北桃山台一丁目「ももポート」でイベント開催～

UR都市機構は、11月1日(金)から来年2月末まで、泉北ニュータウン(堺市南区)における、モビリティハブ(愛称:泉北ぷらっと)の実証事業に参画します。

「泉北ぷらっと」は、堺市、事業開発コンサルティング会社の株式会社AMANE及びUR都市機構の協働により、堺市が進める市全域のスマートシティ化を目指す「堺スマートシティ戦略」の一環として実施するものです。

オンデマンドバスやシェアリングモビリティなど複数の「移動サービス」と、飲食や物販などの「生活サービス」を集約した交流拠点で、泉北ニュータウン地域に3カ所設置、その内2カ所はUR都市機構が管理する泉北桃山台一丁目団地と泉北パークヒルズ竹城台(堺市南区)に設置します。複数のモビリティハブを同時に設置する実証事業は日本初の取り組みです。

当該実証事業の本格展開に当たり、11月10日(日)にももポート(UR泉北桃山台一丁目団地内)にて開催される「ももポート文化祭」にあわせ、モビリティハブの体験イベントを開催します。歩行領域モビリティの展示などを行いますので、地域の交流拠点であるモビリティハブ「泉北ぷらっと」の様子を是非ご覧ください。

【ももポート文化祭】

- 日 時 令和6年11月10日(日) 午前11時～午後4時
- 場 所 UR泉北桃山台一丁目団地 ももポート(堺市南区桃山台一丁目3)
- 内 容 歩行領域モビリティの展示、作品展示、午後の紅茶セミナー、飲食販売、ミニブーケづくり 等

※イベント内容は変更になる場合があります。

出展内容、出展時間等の詳細はももポート公式Instagramをご覧ください。

<https://www.instagram.com/momoyamadai1>

日本初！モビリティハブ「泉北ぷらっと」の実証事業の詳細については、堺市のホームページをご覧ください。



https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/koho/hodo/hodoteikyoshiryo/kakohodo/teikyoshiryo_r6/r610/061024_02.html

<本件に関するお問い合わせ先>

UR都市機構 西日本支社 総務部 総務課(広報担当) 表田 電話:06-4799-1231

大阪エリア経営部 企画課 塚原 電話:06-6346-3416

○ももポートとは

UR都市機構は、堺市と泉北ニュータウン活性化に向けた確認書を締結し、多世代が長く住み続けられるまちにすることを旨とし、「団地コンバージョン※推進モデル事業」を実施しています。UR泉北桃山台一丁目団地では、住民のコミュニティ形成の拠点とすべく集会所を改修して令和3年3月に「ももポート」を開設しました。

※団地コンバージョンとは、泉北ニュータウン内の賃貸住宅において実施する団地魅力の向上を目的とした住宅以外の用途の拠点を整備することをいいます。

開設当初は運営事業者が試行し、その後はUR都市機構が運営を行ってききましたが、令和5年度からは地域のプレーヤーの方々と運営会議を立ち上げ、運営について協議を重ねてきました。11月1日から、UR都市機構から運営会議のメンバーであるNPO法人すまいるセンターに運営主体を移行し、地域プレーヤーによる自立した運営体制を目指します。地域のコミュニティ拠点としての役割がますます期待されています。



左：ももぽーとと各モビリティ 中：ももポートで行われた「木曜カフェ」の様子
右：ももポートのロゴマーク

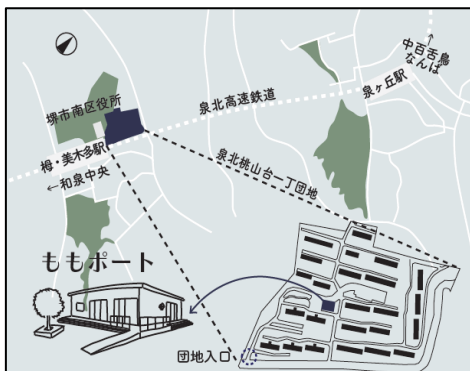
○開業日時と催しについて

水曜日：9:00～18:00 子育てサポートビバーク（運営：NPO法人すまいるセンター）

<https://smile-center.jp/>

木曜日：10:00～16:40 木曜カフェ（運営：NPO法人チュラキューブ）

<https://chura-cube.com/>



○「ももポート」の由来

名称は住民の方の投票により決定しました。

英語の「港（ポート）」から着想を得て、下記の2つの思いが込められています。

- ・ 港にいろんな船が集まってくるように「みんなが集まりたくなる場所に」
- ・ 船が港から出発するように「みんなが羽ばたいていく起点となる場所に」

○11月10日（日）同時開催 「南区ふれあいまつり」

同日、泉北桃山台一丁団地に隣接する西原公園グランド及び南区役所において、校区模擬店や防災をテーマにしたイベント等が実施される「南区ふれあいまつり」が開催されます。スマートシティのイベントコーナーも出展しますので、併せて是非ご来場ください。



詳細は、堺市ホームページをご覧ください。

https://www.city.sakai.lg.jp/minami/torikumi/minami_machizukuri/fureai_matsuri/75912220230809095810194.html

<本件が取り組む SDGs>



<UR 都市機構について>

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・暮らしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<UR都市機構公式サイト>

<https://www.ur-net.go.jp/>

